

豚コレラ侵入防止のための 対策強化をお願いします！！

昨年度から岐阜県、愛知県で豚コレラが続発していますが、6月26日には三重県で、7月6日には福井県で、それぞれ野生いのししでの豚コレラ陽性が確認されています。

豚等を飼育されているみなさまにおかれましては、対策の強化をお願いします！

1 野生動物の侵入防止対策

(1) 畜舎周囲・農場外縁部の石灰散布

- ・ 畜舎周囲や農場の外縁部には、2m以上の幅で地面が白く覆われるくらい、定期的に石灰を散布しましょう！



たっぷり石灰散布

(2) 畜舎や堆肥舎の防鳥ネット設置と 破損箇所の修理

- ・ 畜舎の破損しているところは、速やかに補修しましょう！
- ・ 堆肥舎の食べ残しの飼料が野生動物を誘引することがあるので、堆肥舎を防鳥ネットやブルーシートで覆いましょう！



堆肥舎のネット設置

(3) 清掃・消毒の励行

- ・ 餌入れや畜舎の周辺に餌がこぼれていませんか？こぼれた餌を目当てに野生動物が寄ってくるので、こまめに清掃・消毒をしましょう！

※ その他、農場周辺の電柵やワイヤーメッシュの設置、畜舎周辺の除草や木の伐採も野生動物侵入対策となります。

(参考) こちらのサイトで消毒等の方法を紹介していますので、ご活用ください。

(<http://jaccnet.zenoh.or.jp/boueki/index.html>)



2 人・車両等の出入り対策

(1) 入場車両の消毒徹底と入場者の記録

- 出入り車両は動力噴霧器等で消毒し、入場者の記録をつけましょう！
- 消毒薬の希釈倍率を間違えないように。



入念な車両消毒

(2) 衛生管理区域専用の衣服と靴の着用

- 衛生管理区域専用の衣服と靴を準備し、農場来場者に着用してもらいましょう！



衛生管理区域や畜舎専用の衣服や長靴

(3) 畜舎専用の衣服・靴への着替えと手指消毒

- 畜舎専用の作業服や長靴を用意し、畜舎に入るときはこれに着替えましょう！
- また、畜舎に入るときは手洗いと手指消毒をお願いします。

スプレーで手の消毒→

(4) 踏み込み消毒槽の設置

- 畜舎出入口に踏み込み消毒槽を設置し、畜舎内へウイルスを持ち込まないようにしましょう！



踏み込み消毒槽の設置

こんな症状を見つけたらすぐに家畜保健衛生所に連絡を！

- 耳、下腹部、四肢等に紫斑(チアノーゼ)がある(1頭でも)。
- 同一豚房で、概ね一週間以内に次の何れかの症状を示す豚が増加。
 - (1)40℃以上の発熱、元気消失、食欲減退、(2)便秘、下痢、(3)結膜炎(目やに)
 - (4)歩行困難、後ろ足の麻痺、けいれん、(5)痩せ、毛づやが悪い、発育不良(ひね豚)
 - (6)流死産等の異常産、(7)皮下出血、皮膚紅斑、鼻、口、肛門など天然孔からの出血、血便
- 同一畜舎内で、概ね一週間以内に複数頭が突然死亡する。



元気消失・うずくまり



耳の紫斑(チアノーゼ)